

「日本漢文の黎明と発展」

はじめに	拠点リーダー 高山 節也	1
------	--------------	---

主催者挨拶

今西 幹一	二松学舎大学長	2
-------	---------	---

基調講演

1	漢字伝来に関して	
	大島 正二	4
2	古代韓国における漢籍・仏典の伝来と受容について	
	南 豊鉉	7
3	仏典・漢籍の漢文訓読の営み	
	築島 裕	28

研究発表 [A 会場]

文学 (1)	応制詩の述懐 —平安前期宮廷詩宴における〈個〉—	
	滝川 幸司	38
	東アジアの中の『懐風藻』	
	—応詔詩の「コスモポリタニズム」と「国内性」について—	
	ウェッブ ジェイスン	41
文学 (2)	『日本霊異記』をめぐって —修士コースの演習を通しての報告書—	
	李 銘敬	43
	『源氏物語』における儒教・仏教・道教の思想—第一部を中心にして—	
	陳 明姿	44
文学 (3)	花を愛でる心 —日中の詩歌に見る—	
	興膳 宏	55
	紀長谷雄と菅原道真 —伝記と伝奇—	
	ロバート ボーゲン	57

研究発表 [B 会場]

歴史	日本上代の大陸文献受容をめぐって	
	池田 温	66
	『日本書紀』の倭習と編修過程	
	森 博達	68
言語交流	日本漢文黎明期に於ける二言語変種分用 (diglossia)	
	ウイリー ヴァンドウワラ	70
	古代の和製漢語 —「漢」のついた語彙群について	
	王 勇	73
訓読	漢字文化圏における中国語と日本語の訓読加点の様相	
	小助川 貞次	74
	朝鮮の訓読を巡って	
	藤本 幸夫	75

□ 総合コメンテーター

A会場 後藤 昭雄 B会場 石塚 晴通

○ 講師の主な著書等	77
------------	----